

## 第1号議案

### 令和2年度事業報告及び計算書類・監査報告に関する件

令和2度事業報告

理事長 千葉 一雄

昨年度は、社会全体で新型コロナウイルス感染症と対峙し、仕事、家庭生活に耐えて闘った1年でした。何よりも医療・リハビリテーションの現場、地域の最前線で尽力されている全ての理学療法士の皆さまに心より敬意を表します。

我が国の感染症防止対策は、3つの波の感染症拡大防止による緊急事態宣言の発出を受け、また協会からは前期の対面における主催事業の中止の通達があり、センターでは会員の安全と安心を第一に考え、一時学術大会を延期にしました。そこで、安全を考えた史上初のオンライン開催にチャレンジし、9月に学術大会ならびに第2回研修集会を開催致しました。中でもシンポジウム、大会講演、研修集会セミナーなどオンライン特性を生かして視聴機会の延長行うことで、好評のもと両事業とも成功に納めることができました。その経験をセンター内で水平展開を図り生涯学習局、教育局の研修事業と更に市区町村士会へウェビナー（Webセミナー）開催方法のアドバイスすることで殆どの年間計画に近い研修事業を達成することができました。

新人教育プログラム研修は1,000人の密になる集合研修から安全面を考慮して中止を決断しました。そこで「新人教育プログラム未終了者対策特別委員会」と連携して協会サイドの新プロ情報収集に徹し、市区町村士会ではオンライン研修を推奨し新プロ研修42単位の開催に至りました。さらに、施設単位ごとに未修了者情報と2020年度入会者「特権」の協会新プロe-ラーニング無料情報、新生涯学習制度の移行システムなどを郵送にて対策を強化した取り組みをしました。その効果を含め新入会者の90%がe-ラーニング受講申請に至りました。元来、大阪は新プロ終了率が低迷していて、2010年には43%とワースト10圏内にいましたが、最新のデータでは過去最高の80%に達しました。5,000人以上の8都道府県士会中では第1位に上昇いたしました。

全国大会、ブロック大会、都道府県の学術大会や理学療法講習会など大半が中止・延期で「学びの機会」が消滅して行く中、コロナ禍であってもオンラインの創意工夫による学会や研修集会を開催は、府会員はもとより全国の会員に学びの機会を提供できることによって、府外会員からの参加が飛躍的に伸ばすことができました。そのことは近畿圏をリードする役割を前進することができました。2020年度からセンター独自のクレジット決済をスタートさせ、会員サービス向上が一段と進めた年でもありました。

第60回近畿理学療法学術大会を大阪府士会とセンターが担い、中川法一大会長、村西準備委員長をはじめオール大阪で大会初のハイブリット大会を開催しました。大阪国際会議場から会場参加者とオンラインの近畿会員をはじめ全国の理学療法士会員に届けること

ができました。さらに記念大会企画に「10年後へ向けた持続可能な目標設定の提言」の記念誌を発刊し、近畿理学療法士の全会員へ配布をいたしました。後世に刻む冊子を是非、ご一読頂ければ幸いです。

この一年に取り組んだオンライン総会、理事会、部長会などの会議、研修等の事業運営力を通じて翌年に順延した支部新人症例発表会をオンライン開催が決定しています。新人をはじめ会員の学術のキャリア開発とともに「臨床」「研究」「教育」の理学療法士の質の向上に取り組んだ事をご報告申しあげます。

令和2度事業報告

### 1. 学術集会の開催等による理学療法に関する研究発表事業

#### (1) 第32回大阪府理学療法学術大会の準備に関する事業

①企業展示開催に向けての準備

オンライン開催へ変更のため未実施。

②ランチョンセミナー開催に向けての準備

オンライン開催へ変更のため未実施。

③機器、備品の貸し出し（パソコン、カードリーダー等）

オンライン学術大会開催に必要な備品の貸し出しを実施。

事業番号101：学術大会部

#### (2) 学術大会運営支援に関する事業

①優秀演題選出の補助を行った。

②座長推薦演題選出の補助を行った。

事業番号102：学術大会部

### 2. 理学療法に関する機関誌等の発行事業

#### (1) 学術誌の編集及び発刊に関する事業

創刊に向け学術誌に関する規程を作成するとともに、府士会ニュースや生涯学習センターホームページにて投稿論文の募集を行った。投稿された論文に対しては編集委員会を立ち上げ査読依頼や論文審査を実施した。またオンラインジャーナルとして定期刊行するため、印刷業者に依頼しJ-STAGE登載・発行の準備を進めている。

事業番号201：学術誌編集部

#### (2) 研究活動の助成に関する事業

学術誌の発刊に合わせて引き続き検討していく。

事業番号202：学術誌編集部

### 3. 理学療法士等の資質向上を目的として行う研修等事業

#### (1) 第2回研修会運営支援に関する事業

第2回生涯学習研修集会報告

当初、令和2年7月11日に開催予定であったが新型コロナ感染症拡大防止のため、同年9月12日にWeb配信で開催となった。単位の申請は当日に視聴した講演にのみ付与することとし、その他の講演については9月30日までオンラインでの視聴を可能とした。合計17人の講師で7講演を開催した。総参加者数は千人を超

え、盛大な研修会となった。

1)講演研修テーマ

- 研修① 脳血管疾患に対する評価と治療
- 研修② ペインリハビリテーション
- 研修③ スポーツと運動連鎖 -運動学的視点から考える治療戦略
- 研修④ 膝・足・足関節の機能障害に挑む
- 研修⑤ セラピストの視点から生活期リハビリテーションを考える
- 研修⑥ 医療専門職の経験学習と職員教育の実際
- 研修⑦ 理学療法士における臨床研究のすすめ-研究計画から論文執筆まで-

2)当研修会の参加申し込み者データ

- ・総参加申込者数：1,016人（内、PT協会会員1,001人、OT協会会員15人、大阪府士会員474人）
- ・単位認定者数：759人
- ・各講演の申し込み者数：研修①～⑦のうち
  - ①218人 ②171人 ③176人 ④231人 ⑤96人 ⑥60人
  - ⑦63人

事業番号301：学術大会部

## （2）研修会の開催に関する事業

府士会員の生涯学習として年3回の研修会を開催した。全企画に対して、関連領域における認定理学療法士受験と更新に必要な10 point が取得できるものとした。更に受講と同時に3学会合同呼吸療法認定士及び心臓リハビリテーション指導士の受験と更新に必要なpoint を取得できる、呼吸器及び循環器疾患研修会を企画した。同日開催（午前・午後）を行い、午前・午後の参加で $10 + 10 = 20$  ポイントが一日に取得できる企画をすることにより、会員メリット向上を継続し実施した。

下記企画のうち、②と③は同日開催とした。

### ①第1回研修会

#### 「運動器疾患研修会」

テーマ：「MBI 知覚運動インサートとは～人間が持つ知覚運動システムを用いて～」

日 時：令和2年9月26日（土）午後2時30分から午後5時40分まで

講 師：秦 康司先生（株式会社バンキフ 義肢装具士）

場 所：オンライン開催

参加者：42名

### ②第2回研修会

#### 「心臓リハビリテーション研修会」

テーマ：「心疾患の早期離床・リハビリテーション」

日 時：令和2年9月27日（日）午前9時から午後0時10分まで

講 師：高橋 哲也氏（順天堂大学）

座 長：森 憲一氏（おもて整形外科・骨粗鬆症クリニック）

場 所：オンライン開催

参加者：123名

③第3回研修会

「呼吸器疾患研修会」

テーマ：「呼吸器疾患の運動制限因子を考える」

日 時：令和2年9月27日（日）午後1時から午後5時10分まで

講 師：堀 竜次氏（森ノ宮医療大学）

座 長：森 憲一氏（おもて整形外科・骨粗鬆症クリニック）

場 所：オンライン開催

参加者：145名

事業番号302：研修部

（3）新人教育プログラム研修会に関する事業

①第1回新人教育プログラム研修会中止

②第2回新人教育プログラム研修会中止

③第3回新人教育プログラム研修会中止

④第4回新人教育プログラム研修会中止

⑤第2回東支部新人症例発表会次年度延期

⑥第2回北支部新人症例発表会次年度延期

⑦第2回南支部新人症例発表会次年度延期

⑧第2回中支部新人症例発表会次年度延期

全ての事業において、新コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止・延期となる。

事業番号303：研修理学療法教育部

（4）指導者の育成に関する事業

指定規則改正に伴い、臨床実習指導者講習会の運営について、協力する予定であったが、養成校協議会の発足により、協力が不要となったため、令和2年度事業としては廃止となった。

事業番号304：臨床実習教育部

（5）臨床実習教育基準に関する事業

新型コロナ感染症拡大防止のため臨床実習が中止になり、また、臨床実習で学生ができることが制限されているため、臨床での経験がないまま卒業する学生の卒業時の到達レベルが危惧されるために実施した。特別講演として、門田守人先生（医学会会長）をお招きし、門田レポートの意義について講演をいただいた。

日 時：令和3年8月8日（土）

午前9時30分から14時まで

場 所：地方独立行政法人市立吹田市民病院 1階講堂

およびオンラインでの同時開催（ZOOM 使用）

テーマ：『post コロナの臨床実習を考える』

参加者：67名

事業番号305：臨床実習教育部

#### 4. 目的を同じくする法人等の行う活動に関する助言又は支援

##### （1）協会主催の研修会の運営に関する事業

理学療法士講習会の管理と募集

2020年度に大阪府で開催された理学療法士講習会の管理を行った。また、

2021年度の理学療法士講習会の募集を行い、日本理学療法士協会との連携を行った（助成金講習会の選考を含む）。

事業番号401：受託研修部

#### 5. 法人の目的を達成するために必要な事業

##### （1）ホームページ及びSNSによる広報に関する事業

①学術関連の広報活動に関する事を行った。掲載依頼：27件

②ホームページの管理運営に関する事を行った。

③SNSの管理運営に関する事を行った。

④会員への広報活動に関する事を行った。掲載依頼：45件

事業番号501：広報部

##### （2）ニュースの編集及びホームページ掲載に関する事業

①研修会・講習会・学会等の学術関連の広報活動に関する事を行った。

②ホームページにセンター活動・学術等に関する掲載を行った。

府士会ニュースへの掲載依頼 6件

事業番号502：ニュース編集部

##### （3）役員の行動に伴う業務管理に関する事業

①理事会開催の管理を行った。

第1回 4月15日 第2回 5月12日 第3回 6月17日

第4回 7月15日 第5回 8月4日 第6回 9月16日

第7回 10月21日 第8回 11月10日 第9回 12月16日

第10回 1月20日 第11回 2月9日 第12回 3月17日

②総会、学会、部会などへの出席の管理を行った。

第2回定時総会

期　日：令和2年 7月12日（日）

場　所：当センター事務所（大阪市中央区常磐町一丁目4番12号常磐セントラルビル301号）

代議員：総代議員数 74名

出席者内訳 議決権行使書提出者 39名 当日出席者 31名

この議決権の総数 70個

なお、当日出席した代議員の全員はテレビ会議システムにより出席した。

③他団体との交際については、コロナ禍により未実施である。

事業番号503：総務部

#### （4）理学療法説明会に関する事業

新型コロナ感染症拡大防止のため未開催である。

事業番号504：総務部

#### （5）センター運営の支援に関する事業

①理事会、定時総会、部長会議、その他諸会議の準備と運営を行った。

②学術奨励賞表彰に関する準備を行った。

③議案書、議事録、会議資料の作成と保管を行った。

④公文書、申請書、報告書の発行と保管を行った。

　ア. 公文書 50部

　イ. 委嘱状 1部

⑤各種資料の保管を行った。

⑥儀礼、慶弔対応を行った。

　ア. 弔電 2通

　イ. 祝電 22通

⑦事務所、事務員の管理を行った。

⑧府士会を通じて協会との事務連絡を行った。

事業番号505：総務部

#### （6）理事長活動に伴う業務管理に関する事業

他団体との交流などの管理を行った。

事業番号506：財務部

#### （7）局・部運営に伴う業務の管理に関する事業

①局及び部会議の開催に関する管理を行った。

②センター以外の諸会議への出席に関する管理を行った。

③新事業や新委員会発足に関する管理を行った。

事業番号507：財務部

(8) 財務管理に関する事業

- ①会計業務委託先と連携を取り財務管理を行った。
- ②年間予算の作成及び各部支出状況の管理を行った。
  - ア. 予算・決算に関する事業を行った。
  - イ. 事業収入に関する事業を行った。
  - ウ. 事業費、管理費の支出などに関する事を行った。
  - エ. 流動資産の管理に関する事を行った。
  - オ. 支給規則の遵守に関する事を行った。

事業番号 508：財務部